

学校課題（〇子ども、→学校）

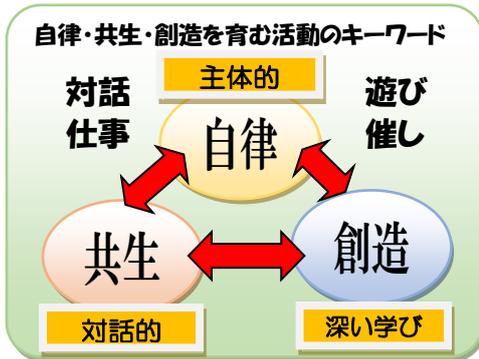
- <自律>
 - 〇自発的に行動する姿にムラがある。
 - 自律活動の取り組みに差がある。新しい教育への不安と情報共有する機会がない。
- <共生>
 - 〇多様性の理解が浅く、他と比べて自他の価値を決める姿が見られる。
 - 学年が同じであれば、子どもの能力は一律であるといった学校の意識と教育活動の実施。
- <創造>
 - 〇子どもが創造した活動が実現されにくい。
 - 探究学習・イベント等が許されない雰囲気。失敗をさせない教育の展開。

市の方針と重点

- <基本方針>
 - 家庭・地域との協働を基盤に『共に支え合い、個のよさや可能性を広げる教育』をめざして
 - <願う子どもの姿>
 - 自分や仲間の個性や能力を理解し、共に高め合い、自らの可能性を広げる児童生徒
 - <目標>
 - 校長のリーダーシップのもと、教職員や家庭・地域コミュニティとの協働による積極的な攻めの学校経営
 - 児童生徒の個性や能力の理解を組織的にに行い、一人ひとりの将来に生きる力を育てる指導
 - 教師としての資質能力を高めるために学び続け、高い専門性と指導力、感受性を身に付ける研修

〔学校の教育目標〕

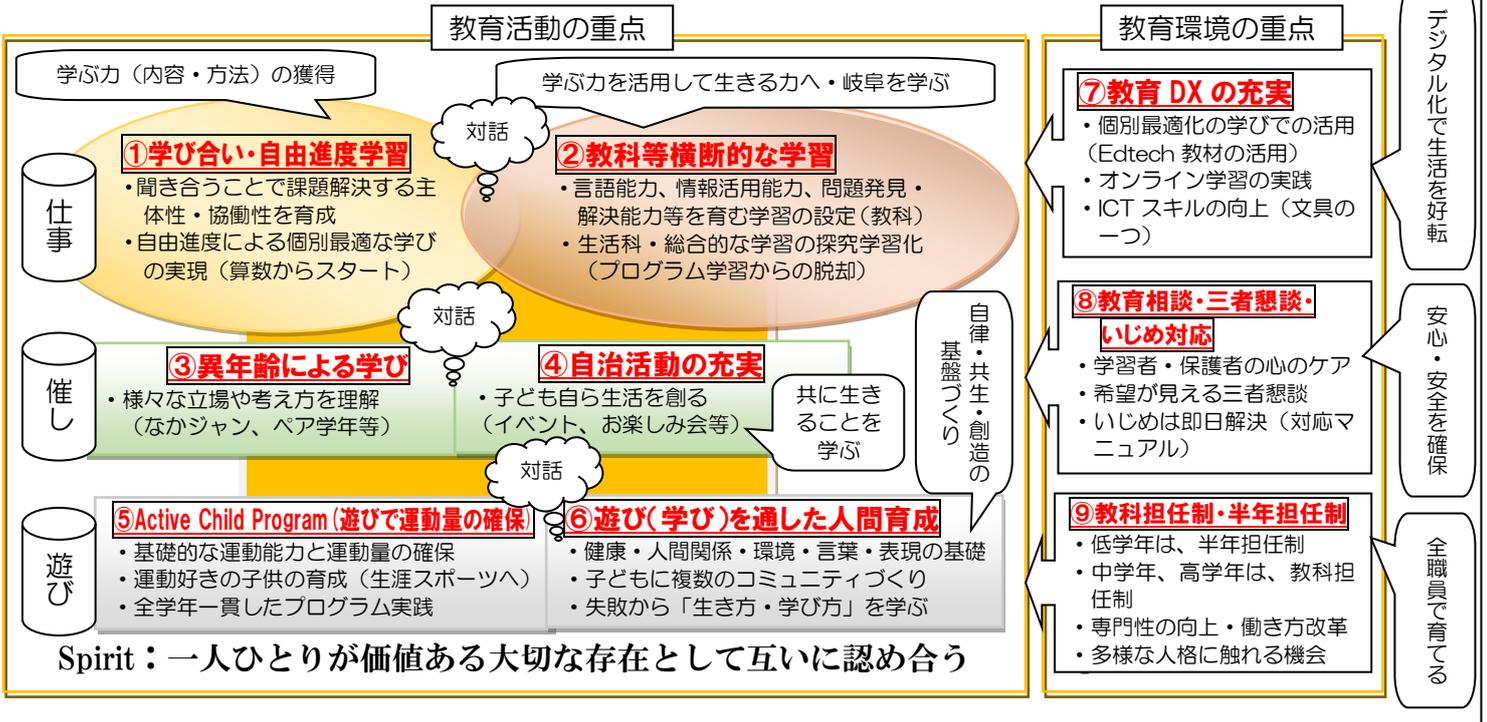
じりつ きょうせい そうぞう
自律・共生・創造



3つの力	めざす子ども・職員の姿
自律	<ul style="list-style-type: none"> 自分で思考・判断し、行動できる。 自分で計画を立て、行動できる。
共生	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を認め尊重し、誰一人取り残さないよう他者と共によりよく生きる。
創造	<ul style="list-style-type: none"> 常識にとらわれない発想や工夫で、新たな価値を生み出す。(Critical Thinking)

- <子ども>
 - 教わり上手から学び上手へ
- <職員>
 - 教え上手から学ばせ上手へ

◆自律・共生・創造を育む9つの重点（対話・仕事（学習）・遊び・催しのバランスよい活動の展開）



◆地域全体で子どもを育むために

学校を含む地域全体で子どもたちを育むコミュニティ・スクールの充実 <令和4年度の挑戦！>

- 学校運営協議会
 - コロナ禍の中でも、地域ぐるみで教育を推進する仕組みづくり
- 地域との連携
 - 保護者による日常的な学習支援・特別支援サポーターの開設
 - 地域によるキャリア教育・ふるさと教育「則武学校」の開校
 - 学校給食に則武地区の食材を導入 Part 2（ふるさと教育推進）

則武を学ぶ

学校運営協議会

～学校評価の活用～

- 第1回 学校経営の全体構想を検討
- 第2回 中間報告会を開催し、達成度と今後の方向を議論する。
- 第3回 学校評価の結果をもとに、学校経営について見直し、来年度の方向を検討。